

電子メール応用編

(Tera Term Pro ver.2.23 の利用)

自宅等のコンピュータを、
電話回線を使って、
大学のコンピュータにつなぎ、
電子メールを読む、返事を書く

Windows 版 Ver.2.1

制作・著作

東京学芸大学 教育学研究室
篠原文陽児

平成 12 年 11 月 5 日

も く じ

1 準備	2
Tterm23Zip 及び関連のファイルのダウンロード	
導入のしかた	
Tterm23 の解凍と cedar のコピー	
設定の前に	
モデムポートの確認	
ttermpro の起動	
2 プログラム Ttermpro の設定	3
(1) 「Setup」の中の「Terminal」の設定	3
(2) 「Setup」の中の「Window」の設定	4
(3) 「Setup」の中の「Font」の設定	5
(4) 「Setup」の中の「keyboard」の設定	6
(5) 「Setup」の中の「Serial port」の設定	7
(6) 「Setup」の中の「General」の設定	8
(7) 設定値の保存	9
3 Tera Term Pro で、自分のコンピュータを大学のコンピュータにつなぐ	10
(1) プログラム Ttermpro の起動とファイル cedarXXX.ttl の選択	10
～ 接続先コンピュータの電話番号等の確認 ～	
4 電子メールを読む	11
5 電子メールに返事を書く	12
6 大学のコンピュータにあるメール文書を削除する	13
7 電話を切る (Ttermpro をやめる)	14
～ 電話代を節約するために ～	
(参考) cedar.ttl ファイル	15
～ 設定例 ～	

1 準備

- (1) Web サイトから、Tterm23Zip をダウンロードする。(注)
- (2) 同時に、zip ファイル解凍用ソフトウェア (例えば、DiskX など。追加でダウンロードしなければならない、なお、dll ファイルについても、当該の解凍用ソフトウェアの使い方などを参考に、必要に応じてダウンロードする必要がある)。

導入のしかた

- (1) Tterm23Zip 内のファイル「Tterm23」をダブルクリックして解凍する。
- (2) 出来上がったフォルダ内の「setup」ファイルをダブルクリックする。
正常に終了すれば、コンピュータ内の Program Files フォルダ内に「Ttermpro」というフォルダができています。
- (3) Ttermpro フォルダに、ファイル cedar.ttl ファイルをコピーする。(本冊子第 15 ページ参照)

設定の前に

- (1) モデムのポート確認
コントロールパネルの中のモデムをダブルクリックし、「プロパティ」をクリックして、「ポート」が何か。COM1 か COM2 か、あるいは COM3 か。メモしておく。
- (2) Tera Term Pro の起動
「スタート」「プログラム」から「Tera Term Pro」グループの Tera Term Pro をクリックするか、デスクトップ上の「Ttermpro へのショートカット」、あるいは、「Ttermpro」フォルダ内の ttermpro をダブルクリックする。図 1 が表示される。

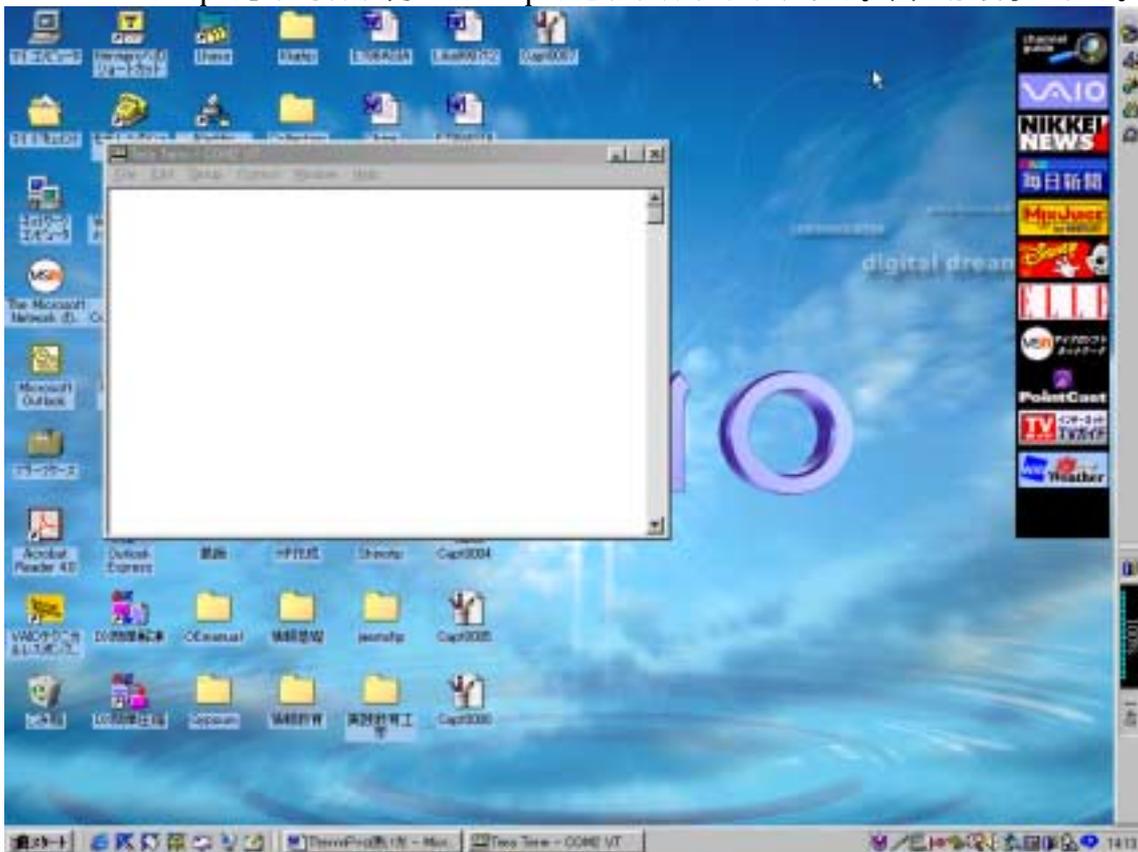


図 1 ttermpro の起動画面

(注) <http://www.vector.co.jp>または <http://www.forest.impress.co.jp>からダウンロードできる。

2 プログラム ttermpro の設定

(1) 図1の画面上部のメニュー(メニューバーという。左から、File、Edit、Setup、Control、Window、Help)から「Setup」をクリックし、さらにメニュー(プルダウンメニューという。上から、Terminal、Window、Font、Keyboard、Serial port、TCP/IP、General、Save setup など)から、最上部の「Terminal」をクリックする(図2参照)

図2とまったく同じように設定する。つまり、
Terminal size は、80、24

New-line は、上から、CR、CR。これは、重要。

Terminal ID は、VT100。これは、重要。

Kanji (receive) と (transmit) は、ともに EUC。これも重要。

なお、設定が終わったら、OK をクリックする。

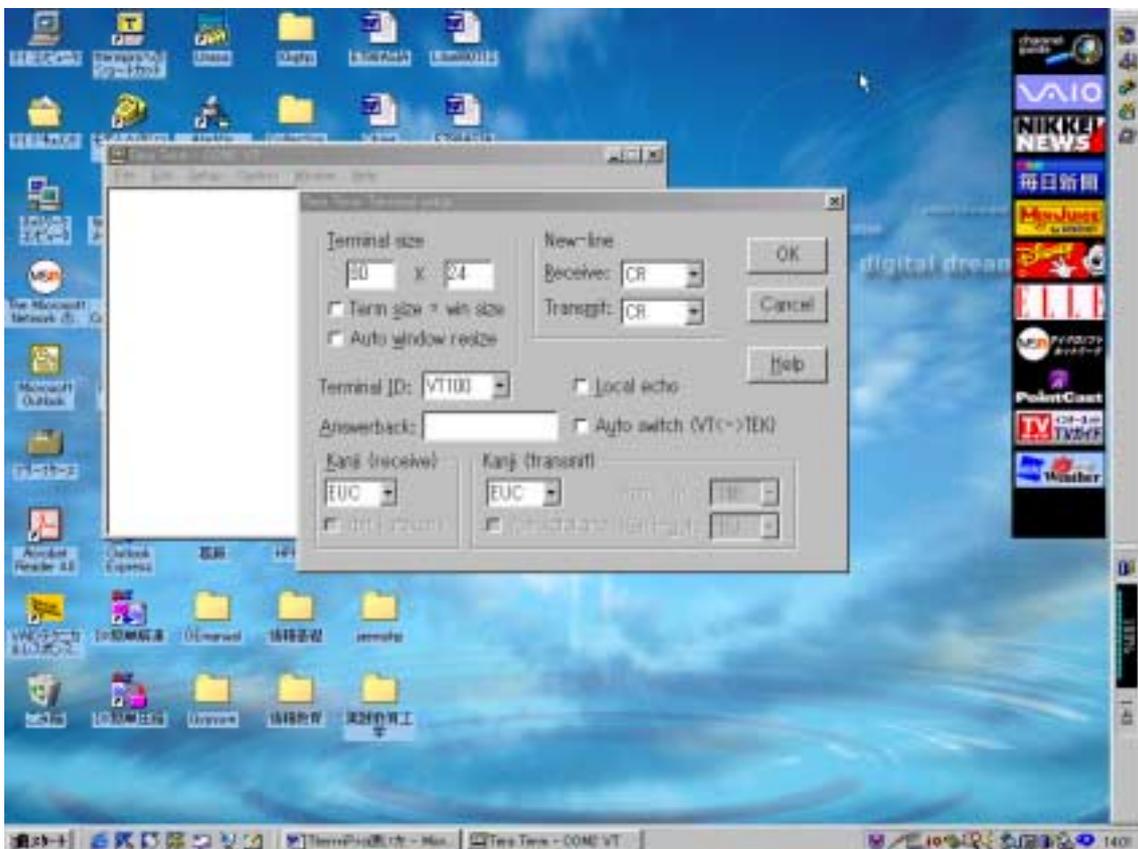


図2 Setup 中の Terminal の設定画面

(2) 「Setup」の中の「Window」の設定

プルダウンメニュー「Window」の設定が、図3である。

図3とまったく同じように、設定する。つまり、

Title は、Tera Term、そして、

Cursor shape は、Block ボタンの前に・、

Scroll Buffer は、100、

Color は、テキスト、Normal。

なお、設定が終わったら、OKをクリックする。

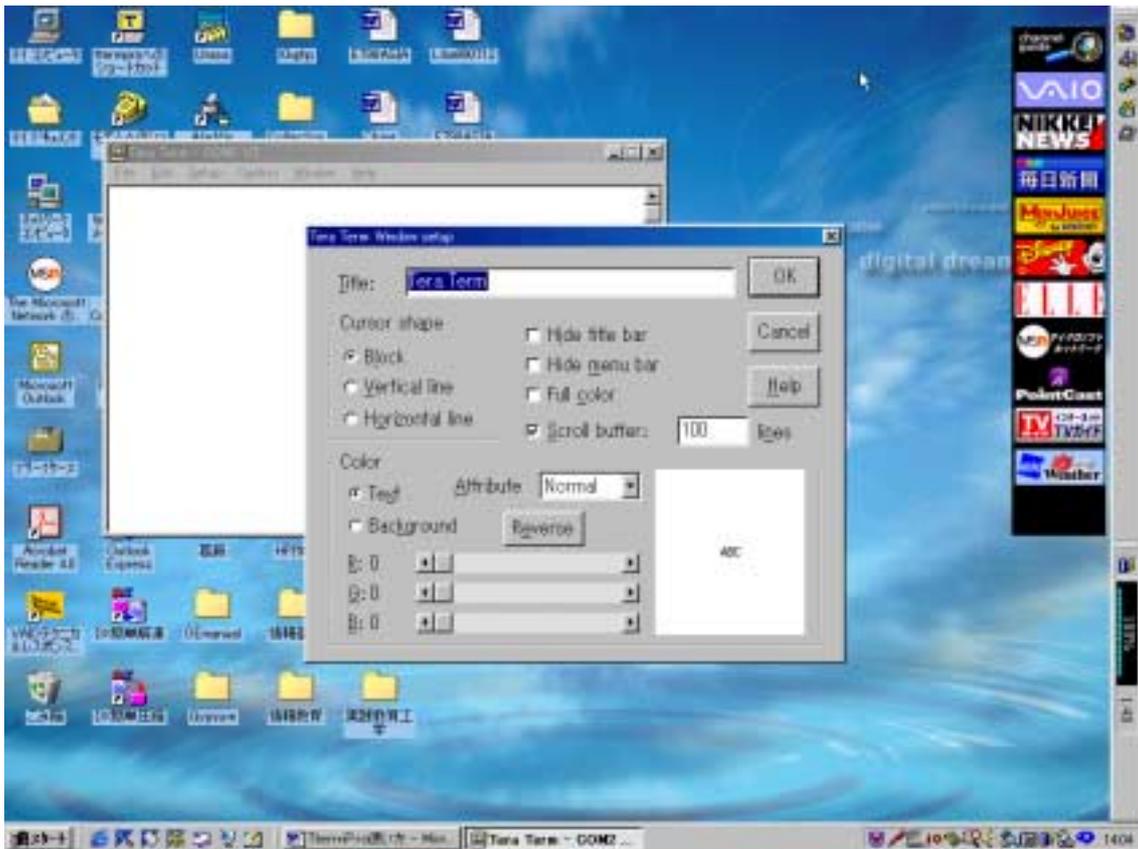


図3 Window の設定

(3) 「Setup」の中の「Font」の設定

図4のように、設定する。つまり、
Font は、Terminal、
Size は、10。
なお、設定が終わったら、OKをクリックする。

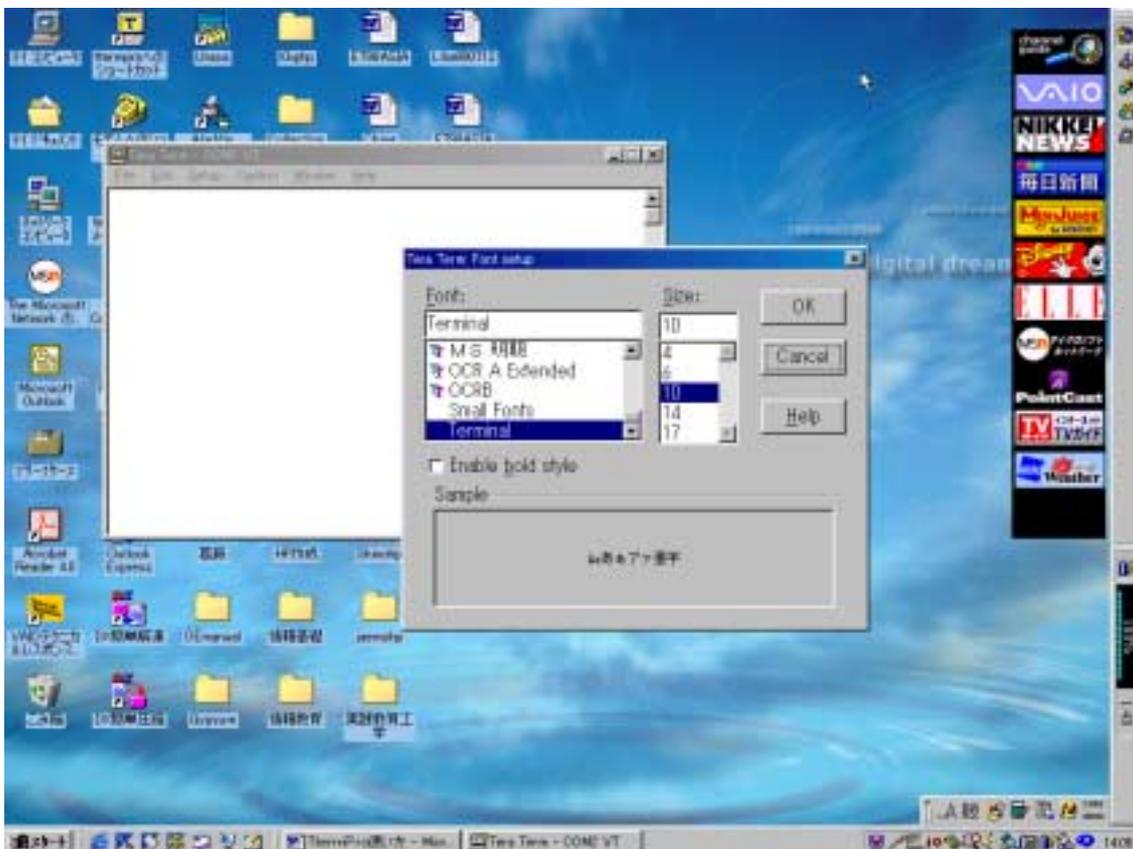


図4 「Setup」中 Font の設定

(4) 「Setup」の中の「Keyboard」設定

図5のように設定。つまり、すべてを空白にする。
なお、設定が終わったら、OKをクリックする。

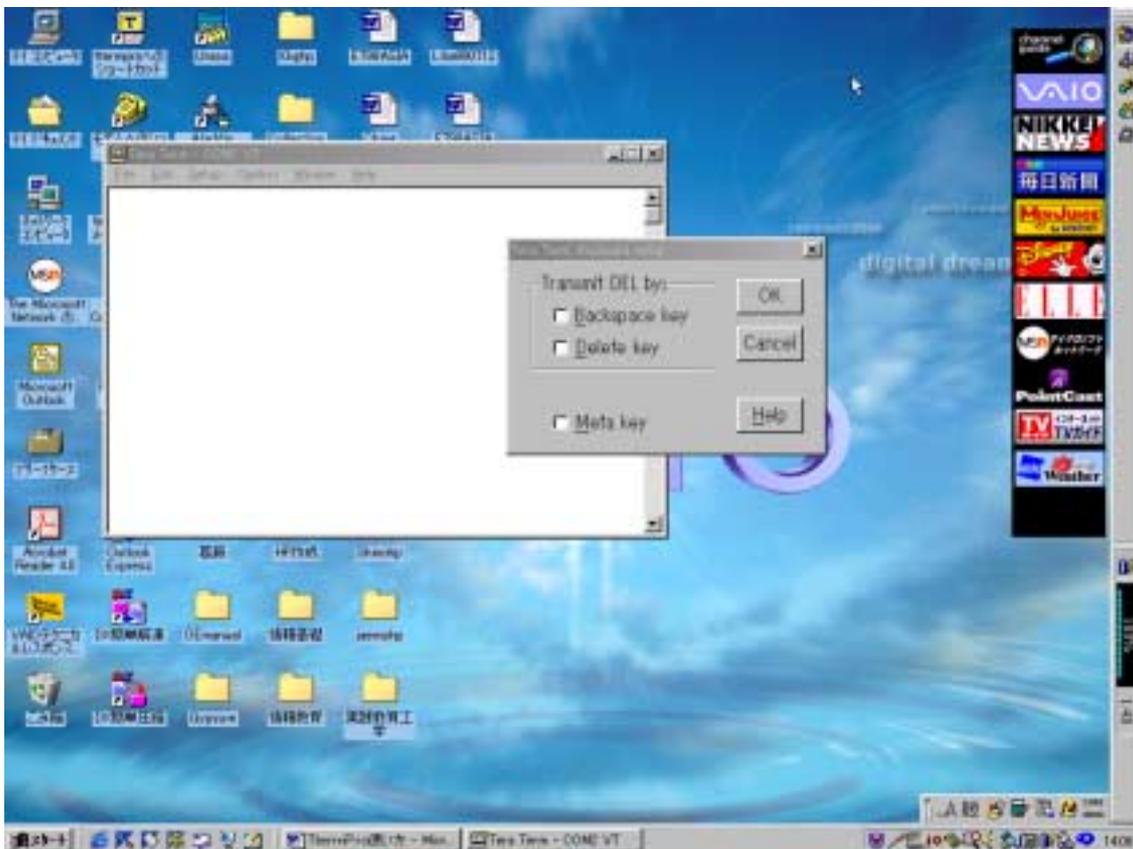


図5 「Setup」中の Keyboard 設定

(5) 「 Setup 」 中の 「 Serial port 」 設定

図 6 のように設定。

Port は、『「設定の前に」(1) モデムポートの確認』でメモした COM1 とか COM2 にする。これは、**重要**。

Baud rate は、9600 (実際には、設置されているモデムの規格による)。

Data は、8 bit。これは、間違えないように、**確実に**。

Parity は、none。これも、間違えないように、**確実に**。

Stop は、1 bit。これも、間違えないように、**確実に**。

Flow control は、none。これも、間違えないように、**確実に**。

Transmit delay は、2 つとも 0。これも、間違えないように、**確実に**。

なお、設定が終わったら、OK をクリックする。

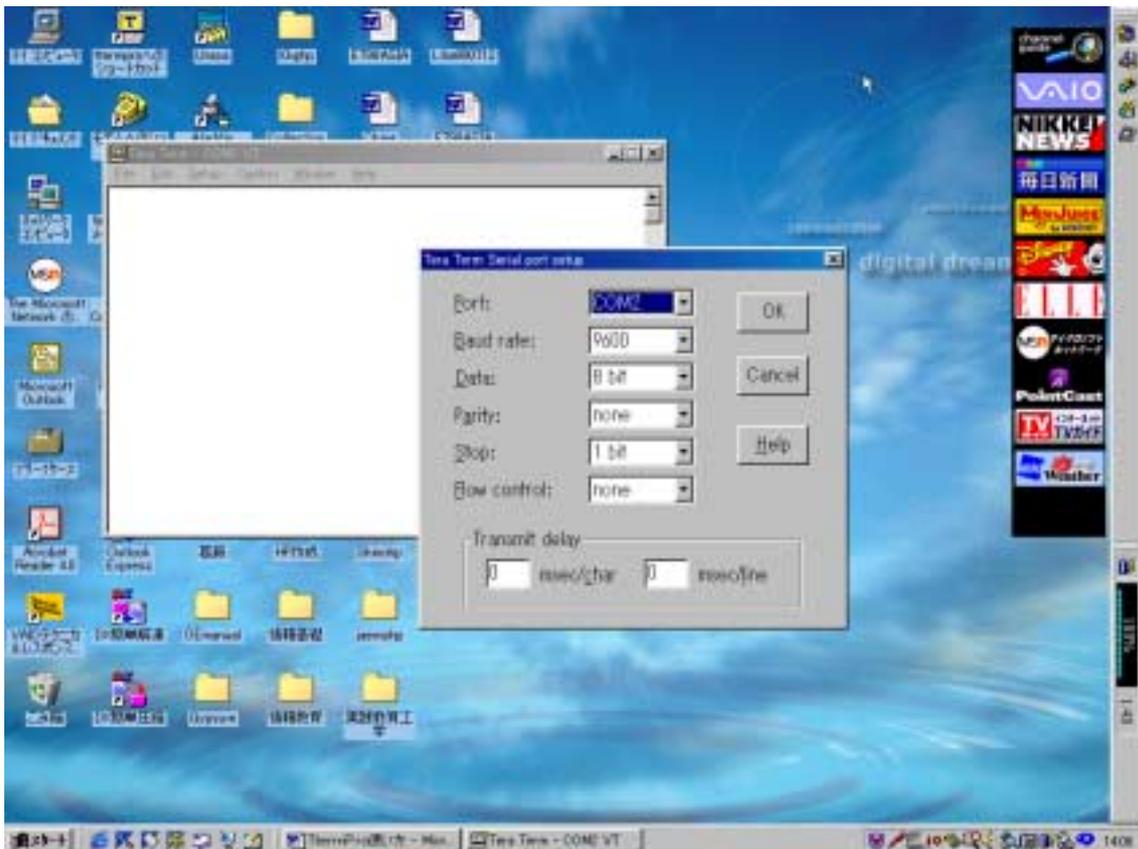


図 6 「 Setup 」 中の Serial port の設定

(6) 「Setup」の中の「General」設定

図7のように設定。

Default port は、『「設定の前に」(1) モデムポートの確認』でメモした COM1 とか COM2 にする。これは重要。

Language は、Japanese。

なお、設定が終わったら、OK をクリックする。

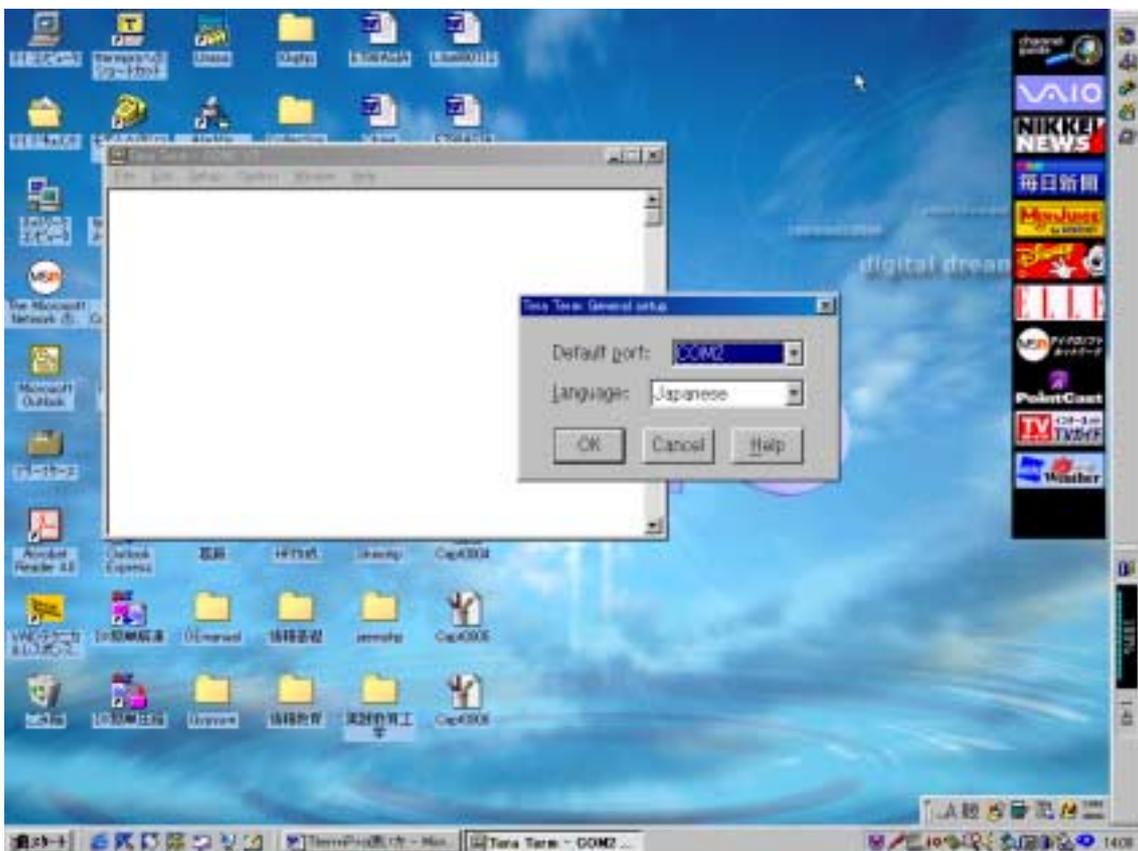


図7 「Setup」中の General の設定

(7) 設定値の保存

以上のように、すべての設定が終わったら、必ず、「Setup」メニューの中の、Save setupをクリック。これは重要。

なお、自宅等の電話回線を使って、コンピュータに接続する（ダイヤルアップという）には、Setupの中の「TCP/IP」の設定は不要である。

3 Tera Term Pro で、自分のコンピュータを大学のコンピュータにつなぐ

(1) 起動とファイルの選択

『「設定の前に」(2) Tera Term Pro の起動』と同じ手順で、つまり、「スタート」「プログラム」から「Tera Term Pro」グループの Tera Term Pro をクリックするか、デスクトップ上の「Ttermpro へのショートカット」、あるいは、「Ttermpro」フォルダ内の ttermpro をダブルクリックする。

「メニューバー」のうち、Control をクリックし、プルダウンメニューを表示させる。プルダウンメニューから、一番下の Macro をクリックする。(図8参照)

ファイル cedarXXX.ttl をダブルクリックする。しばらくして、コンピュータが接続され、パスワードの入力画面になるので、パスワードを入力する(これは、最初に接続した時のみで、次回からは、入力の必要はない)

画面上に、例えば、shinohar@cedar(1) と表示される。



図8 Control 中の Macro を開く

cedarXXX.ttl には、com の番号 (com 1)、東京学芸大学情報処理センターのコンピュータに接続されている電話の電話番号(042-324-6299)と自宅等の電話がトーン方式(ピボパ)の電話回線であること、および利用者の学芸大学コンピュータの「利用者 ID」(例えば篠原は、shinohar)が、設定してある。

これらの設定のいずれかを変更するためには、このファイルを Windows 標準のメモ帳で修正できる。

特に com 1 に設定されていることに注意。ただし、コンピュータによって異なる。本書執筆後、com は 2 となっている本冊子末尾(参考)を参照されたい。

4 電子メールを読む

新しいメールがあれば、
 You have new mail
 shinohar@cedar(1)
と表示されるので、

キーボードから、rmail (read mail の意味) 入力して、Enter(エンター)キーを押す。
到着メールの見出し一覧が順次、画面上に表示される。
読みたいメールの番号の前に矢印キーでカーソルを移動させ、.(ピリオド)キーを押す。
その結果、画面の下の部分にメールの内容が表示される。
長いメール文は、スペースキーを押すことによって、全部を順次、見ることができる。

5 電子メールに返事を書く

今読んでいるメールに返事を書くには、そのまま a (アルファベットの半角エー) を入力する。

Reply to whom と表示される。

エンターキーを押せば、自動的に、今読んでいるメールの差出人宛となるので、文書を入力する。入力が終わったら、

Ctrl (コントロール) キーを押したまま、c キーを 2 回押せば、送信される。

6 大学のコンピュータにあるメール文書を削除する

削除したいメール文書見出し（一覧を含む）の前にカーソルを移動させ、
キーボードで、dキーを押すと、番号の前にDが表示される。
次いで、キーボードでxキーを押せば、しばらくして、削除される。

なお、一度削除すると、改めて見ることはできないことはいうまでもない。

7 電話を切る（Ttermpro をやめる）

図8（図1に示した最初の画面と同じ）の画面にあるFileメニューからDisconnectかExitをクリックする。

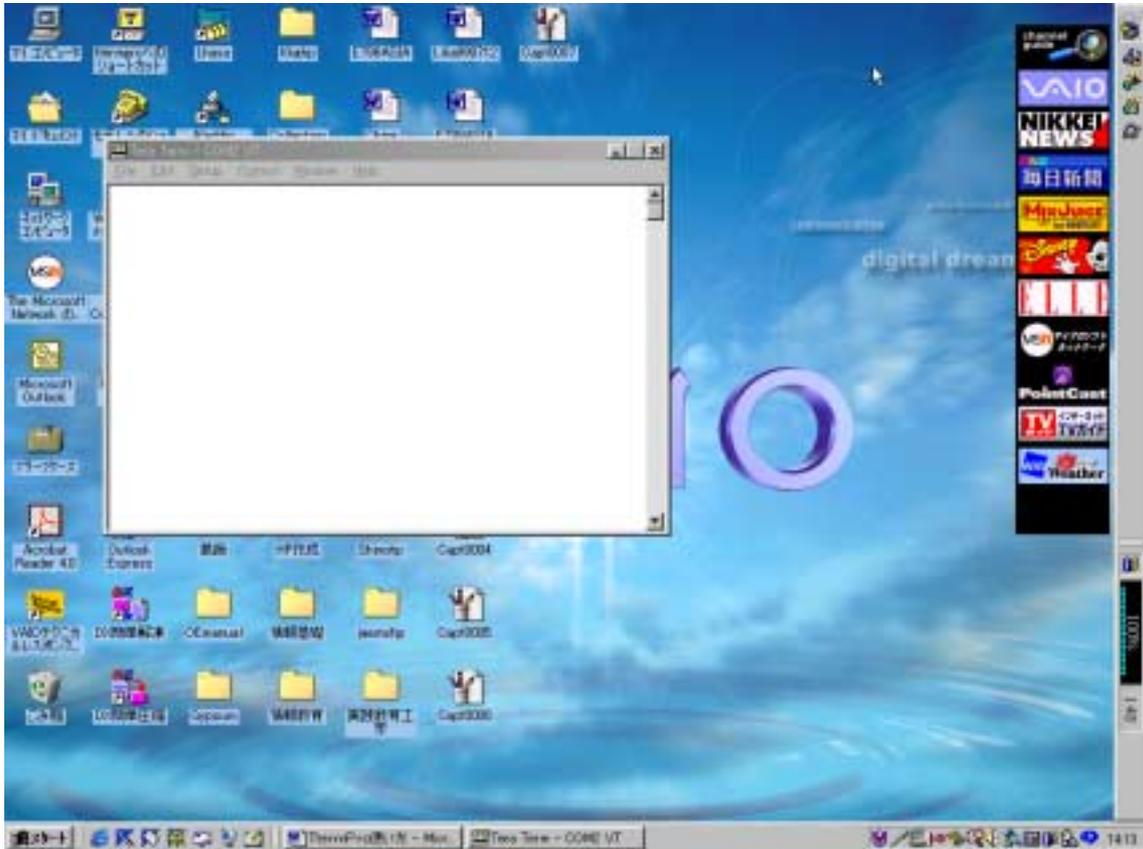


図8 Ttermpro の終了

この操作をしないと、電話が切れず、電話代がかさみますので、必ず行ってください。

(参考) cedar.ttl ファイル (これはテキストファイルで、Windows の Notepad など編集できる)

```
; Sample macro for Tera Term  
; Dial-up login CEDAR at Tokyo Gakugei Univ. from outside Koganei Campuss (Tone)
```

```
; open Tera Term  
; command line = 'TERATERM /C=1' (COM1 port)  
connect '/C=2' ;⇒ COM ポートが、com2であることを示している。  
DialPrefix = 'ATDT' ;⇒電話回線が 1つまりトーンであることを示している。
```

```
; set phone number, username, and password  
PhoneNumber = '0423246299' ;⇒ 'の中が、大学のコンピュータの電話番号。  
UsernamePrompt = 'login:'  
Username = 'UID' ;⇒ 'の中に、自分のログイン名を入力する。  
PasswordPrompt = 'Password:' ;⇒ 'の中に、自分のパスワードを入力する。  
; get password from file  
getpassword 'password.dat' 'mypassword' Password
```

```
; initialize modem (see the manual for your modem)  
sendln 'ATZ'  
wait 'OK'
```

```
; dial up
```

```
:dial  
send DialPrefix  
sendln PhoneNumber
```

```
; set timeout (30 sec)  
timeout = 60
```

```
; wait for strings from modem  
wait 'CONNECT' 'BUSY' 'NO CARRIER'
```

```
; pause 2 sec  
pause 2
```

```
; timeout?  
if result=0 goto error
```

```
; 'CONNECT'?  
if result=1 goto conn
```

```
; 'BUSY'?  
if result=2 goto redial
```

```
; 'NO CARRIER'  
if result=3 goto error
```

```
; error. stop macro  
:error  
messagebox 'Dialing error!' 'Tera Term'  
end
```

```
:redial
yesnobox 'Busy! Try again?' 'Tera Term'
if result goto dial
end
```

```
; connect!
:conn
```

```
; login
wait UsernamePrompt
sendln Username
```

```
wait PasswordPrompt
sendln Password
```

```
; OK, auto login complete.
```

(注) 第 13 行目の
Username = 'UID'
の UID を、あなたのユーザー ID に書き換えます。
また、本プログラムは、トーンダイヤル用です。したがって、お使いの電話が、トーンダイヤルでない場合には、第 8 行目の
DialPrefix = 'ATDT'
の T を P に。つまり、DialPrefix = 'ATDP'
と、書き換えます。